



らぶく La・Book

5月号

No.119

安曇野市図書館講演会

「尾崎喜八と信州」

2022/6/19 (日)

14:00-16:00

尾崎喜八と安曇野といえば、1985（昭和60）年に建てられた穂高中学校にある「田舎のモーツァルト」碑や豊科高等女学校（現在の豊科高等学校）の校歌の作詞でご存じの方も多いのではないのでしょうか。

喜八は、青年期に出会った「白樺」の理念を生涯貫きとおした人です。信州との深いつながりを合唱曲の紹介やピアノ演奏を交えて紐解きます。

講師

高坂 邦彦（こうさか くにひこ）さん
（元 穂高中学校長）

申込

5月24日（火）から
中央図書館カウンターまたは電話

〇場 所：穂高交流学习センター内 多目的交流ホール
〇対 象：中学生以上 一般
〇定 員：100名（先着順）
〇参加費：不要



安曇野市図書館6月のイベント予定

☆講座など

開催館	講座名など	開催日時	場所	申込等
中央図書館 豊科図書館 三郷図書館 堀金図書館	夏休み調べ学習支援講座「調べるテーマを見つけよう！」 ※対象市内在住小学3～6年生	6月25日（土） 午後2時～午後4時	・中央図書館：「みらい」多目的交流ホール ・豊科図書館：「きぼう」ホール ・三郷図書館：「ゆりのき」学習室 ・堀金図書館	・無料 【定員】 中：15名 豊：5名 三：5名 堀：5名
中央図書館	映画上映会 「プロフェッショナル 仕事の流儀 絵本作家 かこさとしの仕事／家政婦タサン志麻の仕事」	6月10日（金） 開場午後6時 開演午後6時30分	「みらい」 多目的交流ホール	・入場無料 ・先着50名 ・申込不要

☆おはなし会

開催館	おはなし会名	開催日	開催時間	定員
中央図書館	おはなしのとびら	1日・8日・15日・22日（各水曜日）	10時30分から （乳幼児以上対象）	先着7組
中央図書館	おはなしとしょうかん	18日（土）	10時30分から （乳幼児以上対象）	先着7組
豊科図書館	ちいさいたんぽぽ	17日（金）	11時から （乳幼児以上対象）	先着7組
豊科図書館	おはなしたんぽぽ	17日（金）	16時30分から （幼児以上対象）	先着7組
三郷図書館	ポケットの会	11日（土）	10時30分から （乳幼児以上対象）	先着10組
三郷図書館	おはなし会	28日（火）	11時から （乳幼児以上対象）	先着10組
堀金図書館	おはなしのへや	21日（火）	10時30分から （乳幼児以上対象）	先着7組
堀金図書館	おりがみのへや	22日（水）	16時30分から （幼児以上対象）	先着7組
明科図書館	子どもと大人のおはなし会	18日（土）	11時から （乳幼児以上対象）	先着5組

◎特別整理による休館期間のお知らせです。ご理解ご協力をお願いします。

- ・中央図書館：6月28日（火）～7月 3日（日）
- ・豊科図書館：6月 7日（火）～6月12日（日）
- ・三郷図書館：6月14日（火）～6月19日（日）
- ・堀金図書館：5月31日（火）～6月 5日（日）
- ・明科図書館：6月21日（火）～6月26日（日）

一般書 『鐘を鳴らす子供たち』

表紙

古内一絵／作 小峰書店

戦後間もない昭和二十二年。練馬区の小学校に通う良仁は級友たちとラジオドラマに出演することになります。戦争孤児をテーマにしたドラマは反響を呼び、公開生放送が決まりますが、予期せぬトラブルが発生してしまい…。

穂高有明にある「鐘の鳴る丘集会所」が舞台の一つとなったドラマ『鐘の鳴る丘』をモチーフとしたフィクションです。戦後の様子が子供たちの目を通して描かれています。

児童書 『わたしのそばできいていて』

リサ・パップ／作 菊田まりこ／訳
WAVE出版

表紙

マディは字を読むのが苦手な女の子。国語の時間に音読をしても上手く読めません。つかえたり間違えたりすると、クラスの子の笑い声が聞こえてきて逃げ出したくなります。そんな

ときママと行った図書館でボニーという犬に出会いました。ボニーに本を読んであげてほしいと頼まれたマディは一緒に本を読む練習を始めます。次は上手く音読できるでしょうか？続編の『いまのわたしにできること』等も出版されています。

4月の貸出ランキング

一般書

- 1 透明な螺旋[ガリレオ][10]／東野圭吾
- 2 流浪の月 The Wandering Moon／凧良ゆう
- 3 52ヘルツのクジラたち／町田そのこ
- 4 穂高の宝 Explore in Hotaka
／安曇野市の歴史文化遺産再発見事業実行委員会
- 5 臨床の砦 青空／夏川草介

表紙

2022本屋大賞が決定
「同志少女よ、敵を撃て」
蓬坂 冬馬 / 早川書房

豊科図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

『どうして端午の節句に菖蒲を飾ったり
菖蒲湯に入ったりするの?』

古代中国では、旧暦の5月（現在の6月）梅雨の時期に当たり、不吉な月とされていました。それらを乗り切るために葉に強い香りがあり、魔よけ、薬草である菖蒲を飾りました。その後飾るだけではなく、菖蒲をお風呂に入れる風習になりました。菖蒲湯につかると体や心を清める作用があるとされています。

また、端午の節句は、「菖蒲の節句」とも言われています。この事から安曇野地域ではショウブ療法として、男の子は菖蒲のハチマキをし、女の子は菖蒲で髪を結ぶと、髪の毛が綺麗になると言われているようです。

<参考資料>

「信州の年中行事」 斉藤武雄／著 1981年 信濃毎日新聞社

「和」の行事えほん1、春と夏の巻 高野紀子／作

2006年 あすなろ書房

「12ヶ月のしきたり」 新谷尚希／監修 2007年 PHP 研究所

「ぎょうじのえほん」 西本鶏介／文 2011年 ポプラ社

「伝統行事がわかる図鑑① はるのしきたり」 新谷尚希／監

2011年 ポプラ社



児童書

- 1 ぼんぼんポコポコ／長谷川義史
- 2 ぐりとぐら／中川季枝子
- 3 しずくちゃん20／ぎぼりつこ
- 4 もこもこもこ／谷川俊太郎
- 5 おばけのてんぷら／せなけいこ

AV資料

- 1 おじゃる丸 満月ロード危機一髪タマにはマロも大冒険／大地丙太郎
- 2 さだまさし話のアルバム 1 旅の中
- 3 大決戦！超ウルトラ8兄弟 劇場公開作品／円谷一夫

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
豊科図書館 ☎71-4022
三郷図書館 ☎76-3078
堀金図書館 ☎72-3601
明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます))

<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※

5月5日は端午の節句、鯉のぼりを飾ったり、ちまきを食べたり、菖蒲湯に入ったりもしますね。また、今頃はハナミズキや藤の花も見頃を迎えているでしょうか。行事食や風習、花の図鑑やゴールデンウィークの行楽に、図書館の本や雑誌をご活用いただけると幸いです。